

ちゅうおうくしょうがいしゃ たよう いし そつうしゅだん りようおよ しゅわ
 「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話
 げんご りかい そくしん かん しょうれい しょうれい
 言語の理解の促進に関する条例」はどんな条例？

基本理念

- 1 障害のある人が障害の特性に応じたコミュニケーション手段を自分の意思で選択する機会が確保されるとともに、必要な情報を取得し、利用できることを基本とします。
- 2 手話が手、指、体の動きなどを使って表現する独自の文法を持つ言語であり、ろう者にとって日常生活及び社会生活を営む上でかけがえのない言語であるということを認識します。
- 3 障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重します。

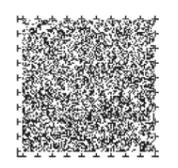
区の責務

障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用と手話が言語であることの理解の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。

区民と事業者の役割

基本理念の理解を深め、区が推進する施策に協力するよう努めること。
 事業者は、障害のある人が障害の特性に応じたコミュニケーション手段を利用できるよう環境の整備に努めること。
 区民・事業者の皆さんの理解と協力が必要です。

発行：令和5年10月
 中央区役所 福祉保健部 障害者福祉課
 〒104-8404
 中央区築地一丁目1番1号
 電話：03-3546-5389 ファックス：03-3544-0505



しょうがい 障害のある方との
 かた コミュニケーションガイド

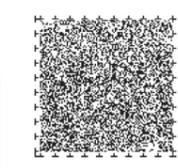
～だれもが個性豊かに輝き 共に暮らせるまち 中央区～

手話は言語です



中央区では、令和5年4月1日に「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」を制定しました。
 この条例は、聴覚障害や視覚障害など障害のある方の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の充実を図るとともに、手話が言語であることの理解を広めることにより、誰もが障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的としています。

このマークは音声コード (Uni-Voice) です。スマートフォン専用アプリなどで読み取ると、この冊子の記載内容を音声で聞くことができます。



しょうがい とくせい 障害の特性とコミュニケーション



ちょうかくしょうがい
聴覚障害

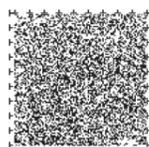
生まれつき耳が聞こえない「ろう者」、以前は聞くこと、話すことができた「中途失聴者」、周囲の音を少しだけ聞き取ることができる「難聴者」は、それぞれコミュニケーション方法を身につけています。

外見ではわかりにくいいため、聞こえていないことが周囲に気づいてもらえないため、声をかけても返事をせず、無視されたと誤解されることもあります。

まずどのような方法でコミュニケーションを取ればよいか確認しましょう。きっとあなたとそこに合うコミュニケーションの方法を教えてください。

【例】手話・筆談・要約筆記・読話・口話・空書など

はいりよ
配慮



しかくしょうがい
視覚障害

目の障害には、全く見えない、または視力が限りなく「0」に近い「盲」と視力が弱い、視野が狭い「弱視」があります。

白杖は、目の不自由な人が歩くために欠かせないもので路面の状況を確認したり、障害物にぶつかるのを防いだりする機能があります。

また、周囲の人へ視覚障害があることを知らせています。

戸惑っている様子の視覚障害のある方を見かけたときには、「何かお手伝いできることはありますか?」、「ご一緒しましょうか?」などとまず声をかけてみましょう。

点字・拡大文字・音訳など、その人に応じた方法で情報を提供しましょう。

はいりよ
配慮



したいふじゆう
肢体不自由

病気や事故などで手、足、背骨や脳などが傷つけられたことによって、体の一部に障害のある方がいます。

さまざまな器具や道具などを使うことによって不便を補いながら、生活をしています。

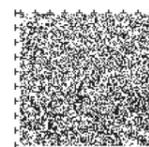
肢体が不自由な人の中には、言語障害がある人もいます。

相手の立場・目線で話しましょう。

車いすを利用している人と話すときは、心身に負担をかけないように少しかがんで同じ目線で話をしましょう。

「車いすを押しましょうか?」、「次は右に曲がります」などの声をかけ、相手の意向を確認してから支援(手助け)をしましょう。

はいりよ
配慮



しょうがい とくせい 障害の特性とコミュニケーション



ち てきしょうがい 知的障害

知的な能力が年齢に応じて発達していないために、わからないことや苦手なことが多く、生活をする上でさまざまな困難があります。しかし、ほとんどの人が人と触れ合うのが大好きです。慣れることで、多くの人と一緒に過ごせるようになります。

知的障害のある人の中には、音に敏感でパニックを起こす人もいます。大きな音には気を付けましょう。絵、図などを使いながらイメージしやすいもの、わかりやすい表現でゆっくりやさしい口調で話しましょう。
【例】コミュニケーションボード



はったつしょうがい 発達障害

場面ごとの言葉の使い分けができない、順番を守るなどのルールがわからないなどで、人とのコミュニケーションがうまくとれずに困っている人がいます。外見からはわかりませんが、発達面に遅れ(発達障害)があるために、生活の中で「わがままで」、「努力が足りない」などと誤解されることもあります。しかし、まわりの人の理解や協力があれば、こうした人が生活しやすい環境をつくることができます。

人によって特徴はさまざまです。行動面や精神面などに特徴があることを理解し、絵や図を使ったり、具体的な言葉で話しましょう。相手の気持ちに寄り添い、優しい気持ちで接することが大切です。

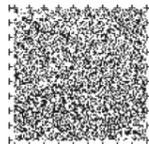
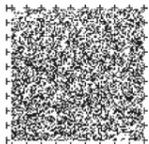


せいしんしょうがい 精神障害

心が不安定な状況を抱え、日頃の生活や社会参加が難しくなっている人がいます。精神障害として代表的な病気に、統合失調症や、うつ病があります。統合失調症にかかると、人が自分の悪口を言っていると感じたり、現実にはない声が聞こえたり、見えたりすることがあります。うつ病にかかると何をしても楽しいと感じることができないといった精神症状や、頭痛やめまいといった身体症状が現れます。



自然体で接しましょう。また、少しだけゆっくりと丁寧に具体的にわかりやすい表現を心がけましょう。

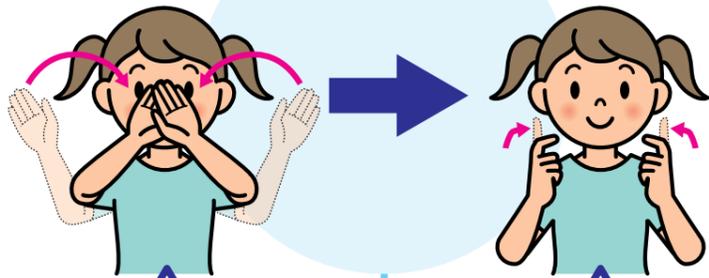


しゅわ いちにち す 手話で一日過ごしてみよう

しゅわ 手話

ちょうかく しょうがい かがた しょう ほうほう ひと
聴覚に障害のある方が使用するコミュニケーション方法の一つで
て ゆび からだ うご しせん ひょうじょう つか ひょうげん げんご
手・指や体の動き、視線や表情などを使って表現する言語です。

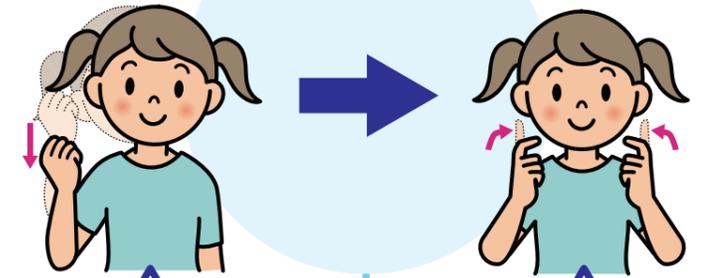
よる こんばんは「夜」+「あいさつ」



て 手のひらを外に向け、顔の
まえ 前で交差させておろします。

ひとさ ゆび む 両手の人差し指を向かい合わせて
ま 曲げます。

あさ おはよう「朝」+「あいさつ」



まくら あらわ ぐぶしは枕を表します。
まくら あたま あ ようす 枕から頭を上げる様子。

ひとさ ゆび む 両手の人差し指を向かい合わせて
ま 曲げます。

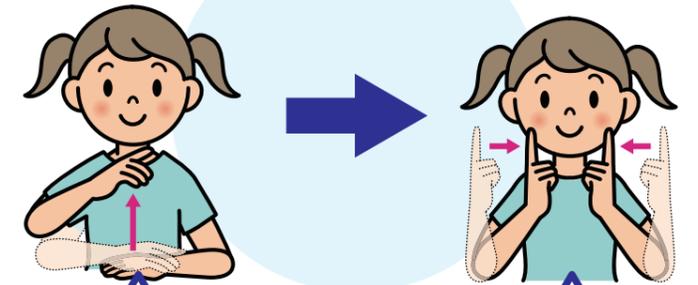


さようなら



みぎて て 右手の手のひらを前に向けて左右に軽く振ります。

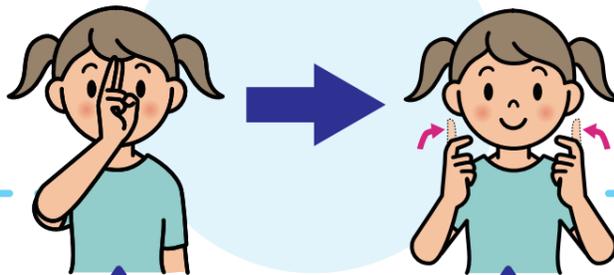
はじめまして



みぎて ゆび と 右手の指を閉じながら上げ、
ひとさ ゆび の 人差し指を伸ばします。

りょうて ひとさ ゆび た 両手の人差し指を立てて、
さゆう よ 左右から寄せます。

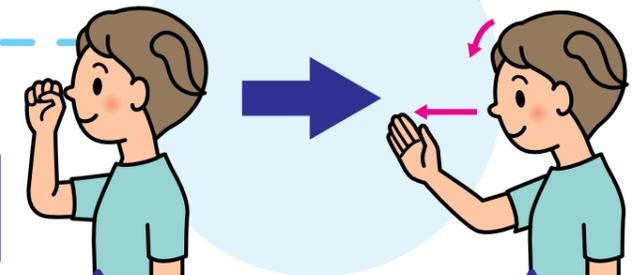
ひる こんにちは「昼」+「あいさつ」



ほん ゆび ひたい 2本の指を額にあてます。時計の
はり し さ ようす 針が12時を指している様子。

ひとさ ゆび む 両手の人差し指を向かい合わせて
ま 曲げます。

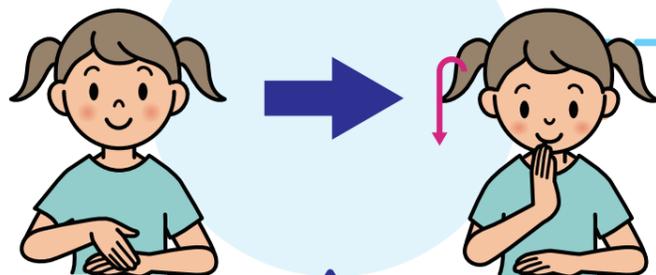
ねが よろしくお願いします「よい」+「お願い」



まえ つか だ はなの前でぐぶしを突き出
します。

て からだ すいじやく ねが 手は体と垂直にし、顔の前
にします。

ありがとう



かたほう て こう 片方の手の甲のあたりから上に引き上げます。

